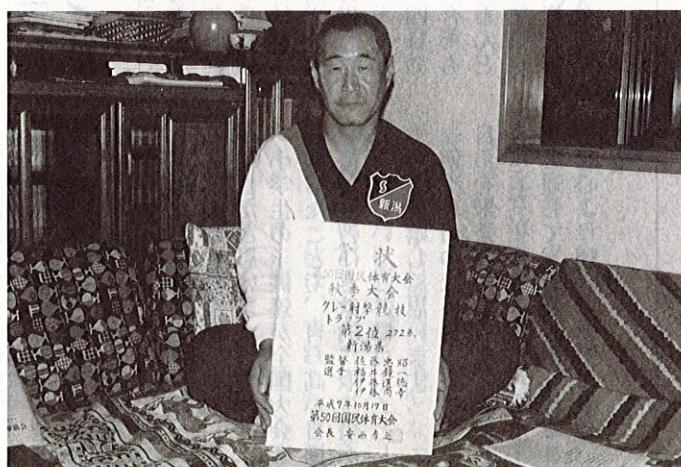
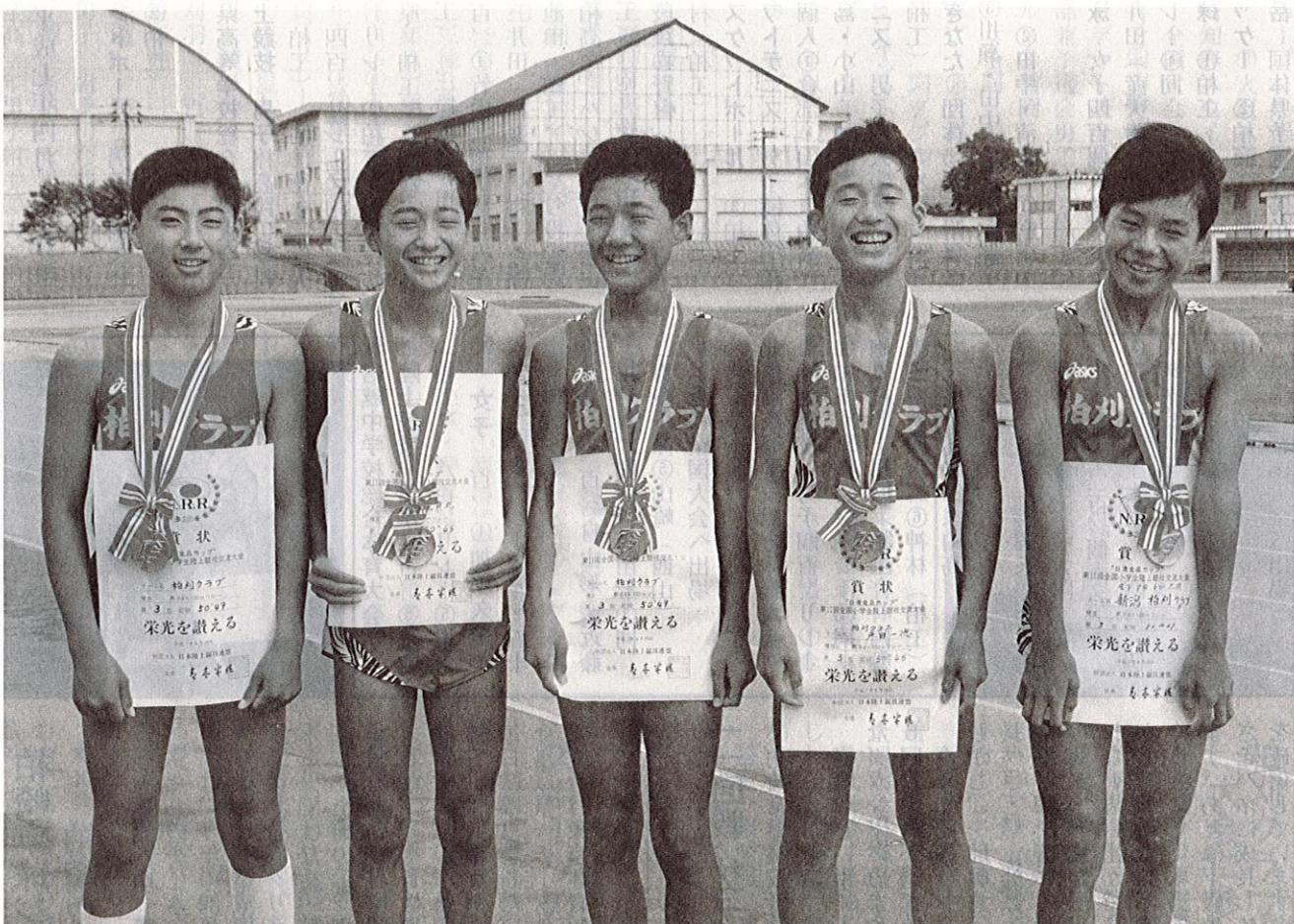


柏崎体育

発行所 柏崎体育団

編集者 近藤康信

印刷所 (株)柏崎インサツ



十一回全国小学生陸上競技交流大会に、陸上競技教室の中から育った子供達だが、県予選を勝ち抜いて出場し見事全国三位に輝いた。写真は右から宮下藏人(荒浜)戸田一徳(比角)平野泰志(柏崎)矢尻貴丸(比角)花岡寛高(柏崎)。

福井鐘一さんが第五十回福島国体のクレー射撃団体二位を射止めた。練習熱心で知られる福井さんが正に自分の手で勝ちを引寄せたといえよう。

国立競技場に柏崎の子供達が走った。第

栄光の記録

(平成七年四月～十月)

柏崎卓球ジニア

柏崎ウイング

○ハンドボール 男子①柏二
女子②柏二

○陸上競技 男子走幅跳①小林一喜(柏二)

(同) 百メートル③荒木(柏二)
三種B③箕輪(刈羽) 百メートル④
丸山(柏三) 八百メートル④入沢
(刈羽) 八百メートル④鏡が沖
三段跳④真貝(北条) 女子
子百メートル①加藤久美子(刈羽)

百十メートルハーデル②五十嵐(柏二)
四百メートルリレー②刈羽 走高跳
五百メートル④同 走幅跳④田中(小国)

上川原(柏工) 四百メートル③神林

(柏工) 三段跳③和田(柏高)

二百メートル①竹内(柏工) 五千

トメートル④三井田(柏工) 百十メートル障害④池田(柏工) やり投④力

石(柏高) ハンマー投④藤田

三段跳⑤野沢(柏工) 百メートル⑥江村(柏工)

○バスケットボール ③柏工

○ソフトテニス 男子団体③柏

同 百メートル平泳③山崎(西山)

四百メートルメドレー④柏二

二百メートル背泳⑤大倉(柏三) 二

百メートル平泳⑤山崎(西山) 四百

メートルリレー⑤西山 百メートルバタフライ

イ⑥坂井(柏二) 二百メートルバタフライ

フライ⑥簾内(柏二) 女子四

百メートル自由形①小島彩(刈羽)

八百メートル自由形①同

五百メートルバタフライ

五百メートルリレー⑥西山

○水泳 男子二百メートル自由形①近藤優(柏一) 四百メートル自由形①同

同 百メートル平泳③山崎(西山)

四百メートルメドレー④柏二

二百メートル背泳⑤大倉(柏三) 二

百メートル平泳⑤山崎(西山) 四百

メートルリレー⑤西山 百メートルバタフライ

イ⑥坂井(柏二) 二百メートルバタフライ

フライ⑥簾内(柏二) 女子四

百メートル自由形①小島彩(刈羽)

八百メートル自由形①同

五百メートルバタフライ

五百メートルリレー⑥西山

○ソフトテニス 女子団体①柏二

二個人③佐野・柴野(柏一)

○山岳 国体県予選 ①柏工

○水球 ①柏工 ②柏高

○ホッケー ②柏商

○山岳 国体県予選 ①柏工

以上、全国大会へ出場



会にも出場することができます。九月の姫路での個人戦全国大会には、五人の選手が出場を果たし、その中の一人が、全国ランディング五位に入ることができました。子供達の人生に忘れることのないすばらしい思い出

代表 山崎徳子

私たちのチーム「柏崎ウイング」は、今年の四月で三年目に

入りました。結成頭初から、仲

よく楽しむレクリエーションス

ポーツではなく、競技スポーツ

として全国のトップを目指して

頑張るという目標でスタートし

ました。一年目は週三～四日の

練習でしたが、県内の試合でも

勝てず、二年目からはほとんど

毎日になりました。その結果、

今年は県一チームの代表権を得

練習でしたが、県内の試合でも

勝てず、二年目からはほとんど

毎日になりました。その結果、

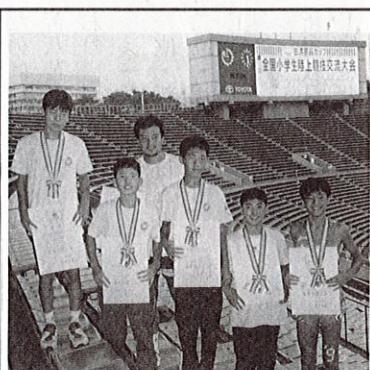
<p

50回国民体育大会
○陸上競技 少年男子B砲丸投
④塚田清峰(柏工)
○クレー射撃 団体②新潟県メンバーフドボル(光商事)
○アーチェリー 成年男子団体
⑥新潟県メンバー福原伊公哉
ほか出場者

安井真(棒高跳) 卷口実(陸上監督) 中村茂樹(棒高跳)
山岸賢一(バスケ) 遠藤博一(バスケ) 猪俣宏(ソフトテニス監督) 山本穂高・倉部知博(ソフトテニス) 本間敏博(卓球監督) 中村コウ(なぎなた監督) 田中美紀(なぎなた)

女子ホープス①黒松美保(ウイング) ③大沢(同) 同カブ
①山崎知春(ウイニング) 同 全国大会 小学生3・4年生女子⑤山崎知春(ウイニング) 県カデット兼全日本選手権少年一部兼予選会男子13才以下シングルス③種岡(ニユーウェーブ) 女子同 ①黒松美穂(ウイング) ⑤大沢(同) ⑥田村(同) 同ダブルス②山崎・灰野(ウイニング) ③黒松・渡辺。スポーツ少年団県大会 剣道小学生4年以下①若葉剣士会サッカーAブロック ③枇杷島FC

女子ホープス①黒松美保(ウイング) ③大沢(同) 同カブ
①山崎知春(ウイニング) 同 全国大会 小学生3・4年生女子⑤山崎知春(ウイニング) 県カデット兼全日本選手権少年一部兼予選会男子13才以下シングルス③種岡(ニユーウェーブ) 女子同 ①黒松美穂(ウイング) ⑤大沢(同) ⑥田村(同) 同ダブルス②山崎・灰野(ウイニング) ③黒松・渡辺。スポーツ少年団県大会 剣道小学生4年以下①若葉剣士会サッカーAブロック ③枇杷島FC



柏刈クラブ全国大会に参加して

柏刈クラブ監督 吉田新次

今年の四月、社会体育の一環として、陸上競技の基礎を教えるために、陸上競技者の底上げを目的として始めた。小學生に陸上競技の基礎を教えるために、陸上競技者の底上げを目的として始めた。

百三十四名の子供達が教室に通い、練習を行った。その中に全国大会出場の十名がいた。県予選で、男女アベック優勝したことは、素晴らしいこと。男女共に期待がかかる。

第十一回全国小学生陸上競技交流大会当日。男女揃って予選

○卓球。北信越学生選手権大会
男子団体①産業大 シングルス
○バーチャルボーリング ライオンズカッブ全日本バーチャルボーリング小学生大会
会県予選会③田尻ホープス
○陸上競技。全国小学生交流大会県予選会四百八十リレー
男子四百八十リレー①柏刈クラブ 女子同①柏刈クラブ
○全国小学生交流大会男子四百八十リレー③柏刈クラブ(宮下蔵人、戸田一徳、平野泰志、花岡寛高、矢尻貴丸)
○卓球。全国選手権少年二部県予選会 男子ホープス①種岡博史(ニューウエーブ)
同バンビ①山崎譲治(ウイニング)

スボーツの魔力

柏崎工業高校
バスケットボール部
顧問 入沢 享



この第一期生に続く子供達をこれからも育成していきたい。

純粹な心で努力する姿、勇敢に戦う姿勢、素直な表情、緊迫した戦況等は魔力を持ち、「見る」スポーツ参加によって共有、共感することができる。このことがスポーツ人口増加の要因となる。柏崎工業バスケットボール部がスボーツ人口増加の要因となっているように思われる。

アが取り上げる時間や紙面スペースの量を見れば、その注目度がわかる。日本が世界に誇れる制度の一つに「国民皆保険」があるが、「国民皆スボーツ愛好者」と言えるほど人々の生活に根付いている。

スポーツは本来「実践する」ものであり、その過程や結果を振返って意義あるものとなる。

一つのスポーツによって種々な人間の心が結ばれ、共に成長する。スポーツは本当に素晴らしい魔力を持つ文化だと思う。

通過。大会の山である準決勝。女子は、惜しくも決勝に進出することはできなかった。しかし、男子は、みごとに一位で決勝に進出した。新潟県で男子リレーの決勝進出は初めての出来事。めざすは、優勝。

決勝が始まり第四走者にバトンが渡された。柏刈クラブは先頭。場内アナウンスでも一位が知らされた。ゴール前まで一位だったが、結果は惜しくも三位。タイムも五十秒四九と素晴らしい記録だった。全国大会で三位に輝き、胸を打つはどうれしかった。

この第一期生に続く子供達をこれからも育成していきたい。

○バレーボール。国体成年女子
○第11回梨元杯新潟県シニア婦人バレー ボール大会①柏崎はまなす

○テニス 北信越ベテラン①井口勝夫（アビア）

○全国青年大会県予選会

○陸上競技 四百メートル①牧口敬臣

五千メートル①中村良二 スウェード
ンリレー①柏崎市 三段跳①阿部清孝 百メートル②品田 走幅跳②野村百メートル③原千五百メートル③根立 走幅跳③牧口 総合②柏崎
○バスケットボール 男子①柏崎市 崎市 女子①柏崎市

○バドミントン ③柏崎市

○卓球 団体①柏崎市 個人男子①大野一博 ②村山 同女子
○柔道 68キロ以下級②伊藤
○剣道 個人男子③小林
○綱引き 混合①柏崎市 男子
○柏崎市 ②柏崎市

○県縦断郡市対抗駅伝競走大会
④柏崎市チーム 区間②星野二文（二区）、三井田将希（六区）、
中村良一（十五区） ③星野（十四区）

○全国スポーツレクリエーション祭出場。陸上競技 小林友也、柴野三郎、千原紀子。ラージボール卓球 大洲卓好会。ソフトバレー ボール 大洲卓好会。ラブ。壮年サッカー ソレイユ柏崎

少年広場の完成間近か

第四十三回北陸バスケ ットボール選手権大会

一般女子へ

編集後記

○バレーボール。国体成年女子
六人制県予選会③KVA
○第11回梨元杯新潟県シニア婦
人バレーボール大会①柏崎はま
なす

○テニス 北信越ベテラン①井
口勝夫（アピア）

○全国青年大会県予選会

陸上競技

四百五十人①牧口敬臣

少年広場の完成間近か
海岸公園総合プールの跡地に
整備中の「少年広場」（愛称）
が来年四月目指してすすめられ
ている。砂入り人工芝の広場は
完成し、築山の天然芝張りと管
理棟の建設、周辺の整備が続け
られている。

第四十三回北陸バスケットボール選手権大会

一位・新潟大学（六年ぶり）
二位・新潟クラブ、三位・十日町クラブ、N I I T S U クラブ
△高校男子△

編集後記

○期日 平成七年十一月十一日
○時間 午前十時から十一時半
○場所 中央地区コミュニティセンター講堂（三階）
◎講師 滝田詔生（つぐお）氏
千葉県成田高校教諭、同校陸上競技部前監督
(滝田さんは、マラソンの増田明美選手、ハンマー投げの室伏広治選手など日本を代表する選手を育てたトップ指導者)

今年は、一般男子六十四チーム、同女子十五チーム。高校里子八十三チーム、同女子五十九チームの合計二百二十一チームの参加。十会場二十四コートを確保。西山町にまでお世話になつたのは前代未聞のことと正に四苦八苦であった。成績は次のとおり。

スボーツ振興基金を再開 || 村山副団長百萬円寄附 ||

第一回 コーチ、ノグサミット

本団唯一の主催スポーツ行事である同大会が今年は九月二十三日と二十五日に開かれた。一時期二十チームを割りそろで四苦八苦した時代もあったが今は参加チームが多くて四苦八苦だが、協会の並々ならぬ努力のおかげと感謝している。その根元は地元が強かつたことも大きな原因で、かつての「柏崎クラブ」の勞を讃えたい。又新人戦と位置づけて時期も定めさせてもらった県協会のご協力に感謝したい。当然の事ながら出発当初から支援していただきいた読売新聞社、(株)モルテンと同じことと感謝したい。

今年は、一般男子六十四チーム、同女子十五チーム。高校男子八十三チーム、同女子五十九

一位・東京学館新潟高校（初優勝）、二位・津幡高校（石川県）、三位・小松明峰高校（石川県）、長岡大手高校（ベスト8・新潟南高校、商業高校、新潟工業高校、加茂暁星高校）

スポーツ振興基金を再開

人表彰では県大会一位以外のものは出来ない。そこで“栄光の記録”で入賞者をリストアップしてみた。意気、活気、元気（いきいきげんき）の高橋團長の願いも伝わってくる。▼何はともあれ越後の冬はきびしい。しかしそのきびしさを力の糧と考へれば冬期練習も効果的なものとして生かされよう。滝田先生の講演は大勢から聞いていたが、糧にしてほしい。時期を得た企画である。